

令和6年度学校評価【3者評価比較(生徒・保護者・教職員)】

- ※ 4: と思う(よい) 3: だいたいと思う(概ねよい) 2: あまり思わない(不十分である) 1: そうは思わない(改善を要する) ()は教職員
 ※ 評価結果について 4+3が80%以上をA、70%以上をB、45%以上をC、45%未満をDとする。
 ※ 構成比の数値は小数点以下第2位を四捨五入のため、集計値計が100%とならなかったり、評価結果が一致しない場合がある。
 ※ 令和6年(2024年)12月実施

項目	対象者	設 問 【学校全般について】	R 6		R 5		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	北海道文教大学附属高等学校に入学してよかった	全学年	81	A	74	B
			(普通科)	82	A	73	B
			(食物科)	82	A	85	A
			1学年	88	A	84	A
			(1学年普)	90	A	83	A
			(1学年食)	80	A	90	A
			2学年	80	B	79	B
			(2学年普)	77	B	78	B
			(2学年食)	94	A	91	A
			3学年	78	B	63	C
	(3学年普)	78	B	60	C		
(3学年食)	75	B	80	B			
保護者	子供が本校に入学してよかった	90	A	91	A		
教職員	生徒が本校に入学してよかったと思う学校づくりに努めている	96	A	98	A		
2	生徒	雰囲気良く、楽しく学校生活を送っている。	全学年	91	A	85	A
			(普通科)	91	A	85	A
			(食物科)	92	A	89	A
			1学年	94	A	91	A
			(1学年普)	95	A	91	A
			(1学年食)	92	A	100	A
			2学年	91	A	87	A
			(2学年普)	90	A	88	A
			(2学年食)	95	A	86	A
			3学年	88	A	78	B
	(3学年普)	87	A	77	B		
(3学年食)	90	A	85	A			
保護者	校舎や設備に満足している	76	B	60	C		
教職員	子供は本校の学校生活に満足していると思う	88	A	86	A		
教職員	生徒の高校生活が充実するように一人一人に目を向け指導している	92	A	93	A		
3	生徒	教育活動の内容や取組について十分伝えられている	全学年	82	A	76	B
			(普通科)	83	A	75	B
			(食物科)	83	A	86	A
			1学年	90	A	81	A
			(1学年普)	90	A	82	A
			(1学年食)	88	A	74	B
			2学年	83	A	81	A
			(2学年普)	81	A	79	B
			(2学年食)	89	A	95	A
			3学年	76	B	69	C
	(3学年普)	76	B	65	C		
(3学年食)	70	B	86	A			
保護者	教育活動の内容(進路・行事等)や取り組み状況が保護者によく伝わっている	74	B	76	B		
教職員	シラバス・学習成績等、必要な情報を十分に生徒・保護者へ提供している	88	A	81	A		
	懇談会や懇親会を含めて保護者との協力関係構築に努めている	76	B	81	A		

4	生徒	先生たちは、熱心に教育活動に取り組んでいると思う	全学年	90	A	86	A
			(普通科)	92	A	85	A
			(食物科)	86	A	91	A
			1学年	95	A	91	A
			(1学年普)	96	A	91	A
			(1学年食)	92	A	85	A
			2学年	90	A	89	A
			(2学年普)	90	A	87	A
			(2学年食)	89	A	100	A
			3学年	87	A	80	B
	(3学年普)	89	A	77	B		
	(3学年食)	75	B	89	A		
保護者	先生たちは、熱心に部活動・学校行事等に取り組んでいると思う	85	A	86	A		
教職員	学校行事への生徒の意識向上を図るとともに、部活動や学校行事等へ積極的に参加している	96	A	85	A		
5	生徒	セレクト／プログラム制導入のカリキュラムに満足している	全学年	90	A	78	B
			(普通科)	90	A	76	B
			(食物科)	92	A	94	A
			1学年	96	A	89	A
			(1学年普)	96	A	89	A
			(1学年食)	92	A	95	A
			2学年	91	A	79	B
			(2学年普)	90	A	76	B
			(2学年食)	95	A	95	A
			3学年	83	A	70	B
	(3学年普)	81	A	65	C		
	(3学年食)	90	A	91	A		
保護者	本校の教育指導には満足している	83	A	83	A		
教職員	定期試験終了後の授業満足度調査によって授業改善を進めている	80	A	78	B		
	生徒にとって適切なカリキュラムを組んでいる	76	B	89	A		

項目	対象者	設 問 【学習について】	R 6		R 5		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	宿題や課題は適切な量が出されている	全学年	91	A	87	A
			(普通科)	92	A	87	A
			(食物科)	89	A	94	A
	保護者	子供は、日常的に家庭学習を確保している様子がうかがえる	57	C	54	C	
教職員	生徒が自学自習を自らできるよう、授業等を工夫している	84	A	93	A		
	スコラ手帳の活用を図っている	40	D	37	D		
2	生徒	先生たちは、教材や教え方に様々な工夫をしている	全学年	89	A	88	A
			(普通科)	90	A	86	A
			(食物科)	78	B	92	A
			1学年	91	A	92	A
			2学年	93	A	90	A
	3学年	81	A	82	A		
保護者	成績等学習状況に関する情報は得ることができている	85	A	86	A		
教職員	シラバスの内容充実を図り、それに合わせた授業実践を行なっている	88	A	89	A		
3	生徒	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる	全学年	83	A	77	B
			(普通科)	82	A	75	B
			(食物科)	91	A	92	A
			1学年	91	A	83	A
			2学年	83	A	82	A
			3学年	75	B	70	C
保護者	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる学校であると思う	73	B	74	B		
教職員	定期試験前後の成績不良・不振者への指導を充実させ、追試合格者数の向上を図っている	72	B	74	B		
	実力テストや模試において十分な事前・事後指導を行っている	60	C	48	C		

4	生徒	学習面での努力や成果を適切に評価している	全学年	91	A	85	A
			(普通科)	90	A	84	A
			(食物科)	95	A	92	A
			1学年	96	A	89	A
			(1学年普)	96	A	88	A
			(1学年食)	96	A	94	A
			2学年	89	A	86	A
			(2学年普)	88	A	86	A
			(2学年食)	100	A	91	A
			3学年	87	A	80	A
(3学年普)	86	A	78	B			
(3学年食)	90	A	92	A			
保護者	子供の学習面での努力や成果が、適切に評価されている	92	A	90	A		
教職員	生徒の学習面での努力や成果を適切に評価している	100	A	100	A		
5	生徒	学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している	全学年	93	A	87	A
			(普通科)	93	A	86	A
			(食物科)	92	A	92	A
			1学年	96	A	91	A
			(1学年普)	98	A	90	A
			(1学年食)	88	A	90	A
			2学年	94	A	90	A
			(2学年普)	94	A	90	A
			(2学年食)	100	A	96	A
			3学年	88	A	81	A
(3学年普)	87	A	79	B			
(3学年食)	90	A	91	A			
保護者	本校の学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している	85	A	86	A		
教職員	授業では、生徒の授業態度について、その都度、適切に指導している	96	A	89	A		
	授業や講習等における準備を十分に行っている	84	A	78	B		
	iPadや電子黒板等の電子機器及びBLEND、ロイロノート、LearningBox等を活用している	88	A	89	A		

項目	対象者	設 問 【進路指導について】	R 6		R 5		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	生徒の進路実現のため、面談や懇談、進路学習や面接指導の実施など努力している	全学年	92	A	82	A
			(普通科)	93	A	80	A
			(食物科)	88	A	90	A
	保護者	本校は生徒の進路実現のために面談や懇談、進学講習や面接指導の実施など努力している	86	A	88	A	
教職員	教科、学年、部活動、講習等を通して、進路の自己実現へ向けての意識付けを行なっている	96	A	96	A		
2	生徒	進路について必要な情報は得ることができている	全学年	89	A	81	A
			(普通科)	89	A	80	A
			(食物科)	90	A	83	A
	保護者	進路について必要な情報は得ることができている	71	B	73	B	
教職員	生徒・保護者へ進路に関する情報を適切に提供し、また教員間での情報共有に努めている	96	A	74	B		
3	生徒	進路に関する面談がよく行なわれている	全学年	81	A	75	B
			(普通科)	84	A	75	B
			(食物科)	69	C	79	B
	保護者	学校・担任に進路に関する相談はしやすいと思う	78	B	80	B	
教職員	生徒からの面接指導を含む進路に関する相談や作文指導、小論文指導等を計画的に実施している	92	A	96	A		

項目	対象者	設 問 【生徒指導について】	R 6		R 5		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	時間を守り、欠席や遅刻をしていない	全学年	93	A	92	A
	保護者	子供は時間を守り、高校生らしい規律ある生活を送っている	92	A	92	A	
	教職員	生徒が高校生らしい規律ある生活を送れるように指導している	92	A	100	A	
2	生徒	本校は、校則(服装・交通安全等)を守る指導及びいじめを許さない指導をしている	全学年	87	A	86	A
	保護者	本校は、身だしなみ(頭髪・服装)、挨拶、礼儀、交通安全、いじめ対応等の指導が行われている	86	A	88	A	
	教職員	いじめ対応も含め担当生徒一人一人を把握し、学年や指導部との連携を密にして指導を進めている	92	A	96	A	
3	生徒	本校は、挨拶や礼儀作法等の指導に真剣に取り組んでいる	全学年	90	A	86	A
	保護者	服装・頭髪等、本校の指導方針には理解・納得できる	86	A	81	A	
	教職員	本校の生活規律についての指導を生徒・保護者に理解させている	92	A	89	A	

令和6年度学校評価【学校自己評価（教職員）】

対象職員	25名
回答数	25名
回答率	100%

※ 4:よい 3:概ねよい 2:不十分である 1:改善を要する

※ 評価結果について 4+3が80%以上をA、70%以上をB、45%以上をC、45%未満をDとする。

領域	対象	4	3	2	1	計	4	3	2	1	満足度 4+3	R 6	R 5	
教育活動に係る評価	学習指導	1 生徒が自学自習を自らできるよう、授業等を工夫している	7	14	4	0	25	28%	56%	16%	0%	84%	A	A
		2 シラバスの内容充実を図り、それに合わせた授業実践を行なっている	8	14	3	0	25	32%	56%	12%	0%	88%	A	A
		3 シラバス・学習成績等、必要な情報を十分に生徒・保護者へ提供している	8	14	3	0	25	32%	56%	12%	0%	88%	A	A
		4 定期試験前後の成績不良・不振者への指導を充実させ、追試合格者数の向上を図っている	1	17	7	0	25	4%	68%	28%	0%	72%	B	B
		5 定期試験終了後の授業満足調査によって授業改善を進めている	7	13	4	1	25	28%	52%	16%	4%	80%	A	B
		6 教科内連携を充実して指導の均等化を図り、評価判定等の充実を目指している	8	11	6	0	25	32%	44%	24%	0%	76%	B	B
		7 生徒の学習面での努力や成果を適切に評価している	9	16	0	0	25	36%	64%	0%	0%	100%	A	A
		8 授業や講習等における準備を十分に行なっている	10	11	3	1	25	40%	44%	12%	4%	84%	A	B
		9 ノーチャイム制を意識し、授業の開始・終了時間をしっかり守って授業を行なっている	13	10	2	0	25	52%	40%	8%	0%	92%	A	A
		10 授業では、生徒の授業態度についてその都度、適切に指導している	7	17	1	0	25	28%	68%	4%	0%	96%	A	A
		11 授業では教進部の授業目標を理解し、実践している	3	17	5	0	25	12%	68%	20%	0%	80%	A	A
		12 生徒にとって適切なカリキュラムを組んでいる	5	14	6	0	25	20%	56%	24%	0%	76%	B	A
		13 スコア手帳の活用を図っている	0	10	8	7	25	0%	40%	32%	28%	40%	D	D
		14 iPadや電子黒板等の電子機器及びBLEND、ロイロノート、LearningBox等を活用している	15	7	3	0	25	60%	28%	12%	0%	88%	A	A
教育活動に係る評価	進路指導	15 教科、学年、部活動、講習等を通して、進路の自己実現へ向けての意識付けを行なっている	5	19	1	0	25	20%	76%	4%	0%	96%	A	A
		16 実力テストや模試において十分な事前・事後指導を行なっている	5	10	8	2	25	20%	40%	32%	8%	60%	C	C
		17 生徒・保護者へ進路に関する情報を適切に提供し、また教員間での情報共有に努めている	6	18	1	0	25	24%	72%	4%	0%	96%	A	B
		18 生徒からの面接指導を含む進路に関する相談や作文指導、小論文指導等を計画的に実施している	6	17	2	0	25	24%	68%	8%	0%	92%	A	A
教育活動に係る評価	生徒指導	19 生徒が高校生らしい規律ある生活を送られるように指導している	6	17	2	0	25	24%	68%	8%	0%	92%	A	A
		20 頭髪・服装・身だしなみ、挨拶、言葉遣い、礼儀、マナー等については、その場で指導している	7	16	2	0	25	28%	64%	8%	0%	92%	A	A
		21 いじめ対応も含め担当生徒一人一人を把握し、学年や指導部との連携を密にして指導を進めている	7	16	2	0	25	28%	64%	8%	0%	92%	A	A
		22 本校の生活規律についての指導を生徒や保護者へ理解させている	5	18	1	1	25	20%	72%	4%	4%	92%	A	A
教育活動に係る評価	特別活動	23 学校行事への生徒の意識向上を図るとともに、部活動や学校行事等へ積極的に参加している	7	17	1	0	25	28%	68%	4%	0%	96%	A	A
		24 生徒会活動や委員会活動、部活動等で、生徒自らが計画を立案し、課題への迅速な対応を図れるように指導している	2	18	3	2	25	8%	72%	12%	8%	80%	A	A
教育活動に係る評価	教育戦略	25 挨拶・礼儀指導を基本とする学力向上教育や特色等を様々な機会を通じて中学校等へアピールしている	5	13	6	1	25	20%	52%	24%	4%	72%	B	B
		26 より魅力ある授業づくりを意識して授業改善に取り組んでいる	6	18	1	0	25	24%	72%	4%	0%	96%	A	A
		27 学校広報の一環としてのホームページ、学級だよりなど、さまざまな発信をしている	6	11	7	1	25	24%	44%	28%	4%	68%	C	C
学校運営	信頼される学校づくり	28 生徒が本校に入学してよかったと思う学校づくりに努めている	7	17	1	0	25	28%	68%	4%	0%	96%	A	A
		29 生徒の高校生活が充実するように一人一人に目を向け指導している	10	13	1	1	25	40%	52%	4%	4%	92%	A	A
		30 担任として、担任生徒全員との個別面談を実施している(2回以上)	11	5	5	4	25	44%	20%	20%	16%	64%	C	B
		31 懇談会や懇親会を含めて保護者との協力関係構築に努めている	8	11	5	1	25	32%	44%	20%	4%	76%	B	A
	32 生徒・保護者に必要な情報を積極的かつ十分に提供している(学級・分掌・部活動等)	4	15	5	1	25	16%	60%	20%	4%	76%	B	A	
	組織運営	33 今年度の学校目標(スクール・ミッションやスクール・ポリシーを含む)や分掌、学年等での重点目標等を理解して実践している	4	16	5	0	25	16%	64%	20%	0%	80%	A	A
		34 iPad、電子黒板等、ICT機器の活用推進がなされている	10	12	3	0	25	40%	48%	12%	0%	88%	A	A
	資質向上	35 各種研修への参加や校内研修等で研修を深める努力を行なっている	3	8	10	4	25	12%	32%	40%	16%	44%	D	C
36 校内で研修成果の報告や活用に努めている		2	7	14	2	25	8%	28%	56%	8%	36%	D	C	

令和6年度教職員自由記載

様々な面で、人員不足の影響が垣間見え、負担感が増した一年でした。教育資源に十分に投資をしてほしいと思います。
電話対応が放置されざみなのが気になります。かなりお待たせしている場合があります。
留学生の受け入れについて、個人的には受け入れに関しては1年間を通して、学習や行事等への参加や体制づくりのために期間が必要であったと思います。結局、約1か月で早々に帰国したことを鑑みると、受け入れる必要はあったのかとはなはだ疑問に感じています。
スポーツ特待生の降格基準について、本校の推薦基準である3.5を基本に設定し、学習への意識づけを高める必要があると考える。
教職員はスクールポリシー・スクールミッションを普段からしっかり意識して生活しなければいけないのではないかと。
プログラムによる学級編成について、アスリートプログラムについては、混合クラスではなく、単体で一クラスとして編成するべきであると思いました。別プログラムの生徒の学習する権利をしっかり保障していくためにも、授業展開の難しさもあるかとは思いますが、必要であると考えます。
生徒の人格形成、進路実現に向けて、面談、講習等を量的にもっと行っていきたいが、そんな時間さえも十分に取るのが難しい現状が残念でなりません。人的充実をはかることが難しい以上、大きく何かを削って時間を見いだす以外に方法はないのかもしれませんが、それも難しいのがジレンマです。
研修や授業の工夫に時間を割きたいのですが、業務過多でなかなか手が回らないのが現状です。各先生方の業務量をできるだけ平準化してほしいと思いますが、自分一人の力だけではなかなか実現できていないのが現状です。また、学年ごとに、指導方針が異なる部分が多く、生徒が不公平感を感じていることも多々あると思います。各分掌が音頭を取って学校全体の方針を打ち出していかねればと思っていますが、私自身が担当している分掌についてもそこまで手が回っていないのが現状です。
人は変わることを好みませんが、成長には欠かせません。文科省のガイドラインが示す「生きる力」を育む変更が必要です。専任の先生たちが学校の繁栄を望むなら、教育方法と生活様式を変える必要があります。現在の「スポーツ第一、毎日スポーツ」というシステムは時代遅れで、生徒が怪我をしたり、勉強をしなかったり、ワークライフバランスが悪くなるだけです。なぜ一部の生徒には勉強に影響するからという理由でアルバイトを思いとどらせる一方で、部活生徒は勉強に悪影響があってもスポーツをすることが許されるのでしょうか？
年度末反省の前に、各校務への意見要望等のアンケートがあるとより効率的な業務課善が図れると思います。
教室が20℃設定では寒い。月曜日は土日で完全に冷え切ってしまうため、特に寒く感じます。放課後の時間も何時で教室のストーブが切れるかわかりませんが、急な生徒対応や部活のミーティングなどで使う際、とても寒いです。最終下校時間までストーブを点けておいて欲しいです。ちなみにアトリウムや体育館の寒さも改善してほしいです。土日の事前に調査があるのはわかりますが、平日は全クラス共通で時間指定していただきたいです。夏は暑い、冬は寒い、綺麗な校舎なのにとっても残念です。
授業や部活・サークル、施設利用など、もっとたくさん高大連携をしていければと思います。
持ち科目数が5科目と多く、やらなければならないことが多すぎて余裕がない。

令和6年度学校評価【生徒アンケート 全学年全学科】

合計:素点		在籍	426	回答	401	回答率	94%	4	3	2	1	合計	平均
評 価 項 目								4	3	2	1	合計	平均
								そう思う	だいたい そう思う	あまり思 わない	そうは思 わない		
学校全般 について	1	北海道文教大学附属高等学校に入学してよかった						106	222	58	15	401	3.0
	2	雰囲気良く、楽しく学校生活を送っている						144	221	26	10	401	3.2
	3	学校の校舎や設備に満足している						123	181	71	26	401	3.0
	4	教育活動の内容や取組について十分伝えられている						102	230	57	12	401	3.1
	5	先生たちは、熱心に教育活動に取り組んでいると思う						126	237	30	8	401	3.2
	6	セレクト/プログラム制導入の授業カリキュラムに満足している						143	218	30	10	401	3.2
	7	先生たちは、スコラ手帳の活用について指導している						89	164	82	66	401	2.7
	8	ICT環境(iPadの貸与、電子黒板、BLEND、ロイロノート、LeaningBox等)には満足している						218	172	7	4	401	3.5
学習 について	9	宿題や課題は適切な量が出されている						165	202	26	8	401	3.3
	10	先生たちは、教材や教え方に様々な工夫をしている						144	212	39	6	401	3.2
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる						117	217	54	13	401	3.1
	12	学習面での努力や成果を適切に評価している						136	229	29	7	401	3.2
	13	学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している						151	222	22	6	401	3.3
進路 指導 について	14	生徒の進路実現のため、面談や懇談、進路学習や面接指導の実施など努力している						170	199	21	11	401	3.3
	15	進路について必要な情報は得ることができている						141	218	31	11	401	3.2
	16	進路に関する面談はよく行われている						126	202	61	12	401	3.1
生活 指導 について	17	時間を守り、欠席・遅刻をしていない						233	141	19	8	401	3.5
	18	本校は、校則(服装・交通安全等)を守る指導及びいじめを許さない指導をしている						166	186	39	10	401	3.3
	19	本校は、挨拶や礼儀作法指導を真剣に取り組んでいる						167	191	33	10	401	3.3

各評価項目の評価結果は、4+3が80%以上をA、70%以上をB、45%以上をC、45%未満をDとする。

合計:%		在籍	426	回収	401	回収率	94%	4	3	2	1	評価
評 価 項 目								4	3	2	1	評価
								そう思う	だいたい そう思う	あまり思 わない	そうは思 わない	
学校全般 について	1	北海道文教大学附属高等学校に入学してよかった						26%	55%	14%	4%	A
	2	雰囲気良く、楽しく学校生活を送っている						36%	55%	6%	2%	A
	3	学校の校舎や設備に満足している						31%	45%	18%	6%	B
	4	教育活動の内容や取組について十分伝えられている						25%	57%	14%	3%	A
	5	先生たちは、熱心に教育活動に取り組んでいると思う						31%	59%	7%	2%	A
	6	セレクト/プログラム制導入の授業カリキュラムに満足している						36%	54%	7%	2%	A
	7	先生たちは、スコラ手帳の活用について指導している						22%	41%	20%	16%	C
	8	ICT環境(iPadの貸与、電子黒板、BLEND、ロイロノート、LeaningBox等)には満足している						54%	43%	2%	1%	A
学習 について	9	宿題や課題は適切な量が出されている						41%	50%	6%	2%	A
	10	先生たちは、教材や教え方に様々な工夫をしている						36%	53%	10%	1%	A
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる						29%	54%	13%	3%	A
	12	学習面での努力や成果を適切に評価している						34%	57%	7%	2%	A
	13	学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している						38%	55%	5%	1%	A
進路 指導 について	14	生徒の進路実現のため、面談や懇談、進路学習や面接指導の実施など努力している						42%	50%	5%	3%	A
	15	進路について必要な情報は得ることができている						35%	54%	8%	3%	A
	16	進路に関する面談はよく行われている						31%	50%	15%	3%	A
生活 指導 について	17	時間を守り、欠席・遅刻をしていない						58%	35%	5%	2%	A
	18	本校は、校則(服装・交通安全等)を守る指導及びいじめを許さない指導をしている						41%	46%	10%	2%	A
	19	本校は、挨拶や礼儀作法指導を真剣に取り組んでいる						42%	48%	8%	2%	A

令和6年度学校評価〔保護者アンケート 全学年〕

合計:素点		在籍	426	回答	316	回答率	74%	※在籍数=保護者2名とも回答の数が上乗せ					
評 価 項 目								そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	そうは 思わない	合計	平均
学校全般について	1	子供が本校に入学してよかった。						156	131	24	5	316	3.4
	2	子供は本校の学校生活に満足していると思う。						105	174	29	7	315	3.2
	3	教育活動の内容(進路・行事等)や取り組み状況が保護者によく伝わっている。						58	173	74	8	313	2.9
	4	先生達は、熱心に部活動・学校行事等に取り組んでいると思う。						125	141	37	9	312	3.2
	5	本校の教育指導には満足している。						85	176	41	11	313	3.1
	6	本校の教育理念や指導方針(スクール・ポリシー等を含む)が理解できている。						53	200	50	10	313	2.9
	7	保護者と教職員の協力関係がしっかり築けていると思う。						56	178	62	16	312	2.9
	8	BLENDIによる連絡・通知は重宝している						197	109	9	1	316	3.6
学習について	9	子供は、日常的に家庭学習を確保している様子が見える。						48	132	115	16	311	2.7
	10	成績等学習状況に関する情報は得ることができている。						99	166	42	6	313	3.1
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる学校であると思う。						58	170	74	11	313	2.9
	12	子供の学習面での努力や成果が、適切に評価されている。						90	198	25	2	315	3.2
	13	本校の学習指導体制(対面授業・ICTを活用した授業、講習等)には満足している。						68	200	38	9	315	3.0
に進路指導	14	本校は生徒の進路実現のために面談や懇談、進学講習や面接指導の実施など努力している。						94	178	33	11	316	3.1
	15	進路について必要な情報は得ることができている。						56	166	83	10	315	2.9
	16	学校・担任に進路に関する相談はしやすい。						105	143	55	12	315	3.1
に生活指導	17	子供は時間を守り、高校生らしい規律ある生活を送っている。						122	168	23	2	315	3.3
	18	本校は、身だしなみ(頭髪・服装)、挨拶、礼儀、交通安全、いじめ対応等の指導が行われている。						99	174	33	9	315	3.2
	19	服装・頭髪等、本校の指導方針には理解・納得できる。						107	164	31	12	314	3.2

質問調査

はい いいえ 合計

20	本校のホームページを利用したことがある。	220	95	315
21	子供から進路に関する相談を受けることがある。	273	42	315
22	子供の進路目標を理解し、協力している。	297	18	315
23	交通機関の利用などの交通マナーやスマホ利用について、家庭で厳しく指導している。	257	55	312
24	子供の身だしなみ(服装・頭髪)に関して、家庭での躰には厳しい方だ。	196	119	315
25	PTA活動(個人懇談・学級懇談会・PTA研修等)には積極的に参加している。	100	215	315

各評価項目の評価結果は、A+Bが80%以上をA、70%以上をB、50%以上をC、50%未満をDとする。

合計		在籍	426	回収	316	回収率	74%	A	B	C	D	評価
評 価 項 目								そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	そうは 思わない	
学校全般について	1	子供が本校に入学してよかった。						49%	41%	8%	2%	A
	2	子供は本校の学校生活に満足していると思う。						33%	55%	9%	2%	A
	3	教育活動の内容(進路・行事等)や取り組み状況が保護者によく伝わっている。						19%	55%	24%	3%	B
	4	先生達は、熱心に部活動・学校行事等に取り組んでいると思う。						40%	45%	12%	3%	A
	5	本校の教育指導には満足している。						27%	56%	13%	4%	A
	6	本校の教育理念や指導方針(スクール・ポリシー等を含む)が理解できている。						17%	64%	16%	3%	A
	7	保護者と教職員の協力関係がしっかり築けていると思う。						18%	57%	20%	5%	B
	8	BLENDIによる連絡・通知は重宝している						62%	34%	3%	0%	A
学習について	9	子供は、日常的に家庭学習を確保している様子が見える。						15%	42%	37%	5%	C
	10	成績等学習状況に関する情報は得ることができている。						32%	53%	13%	2%	A
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる学校であると思う。						19%	54%	24%	4%	B
	12	子供の学習面での努力や成果が、適切に評価されている。						29%	63%	8%	1%	A
	13	本校の学習指導体制(対面授業・ICTを活用した授業、講習等)には満足している。						22%	63%	12%	3%	A
に進路指導	14	本校は生徒の進路実現のために面談や懇談、進学講習や面接指導の実施など努力している。						30%	56%	10%	3%	A
	15	進路について必要な情報は得ることができている。						18%	53%	26%	3%	B
	16	学校・担任に進路に関する相談はしやすい。						33%	45%	17%	4%	B
に生活指導	17	子供は時間を守り、高校生らしい規律ある生活を送っている。						39%	53%	7%	1%	A
	18	本校は、身だしなみ(頭髪・服装)、挨拶、礼儀、交通安全、いじめ対応等の指導が行われている。						31%	55%	10%	3%	A
	19	服装・頭髪等、本校の指導方針には理解・納得できる。						34%	52%	10%	4%	A

質問調査

はい いいえ

20	本校のホームページを利用したことがある。	70%	30%
21	子供から進路に関する相談を受けることがある。	87%	13%
22	子供の進路目標を理解し、協力している。	94%	6%
23	交通機関の利用などの交通マナーやスマホ利用について、家庭で厳しく指導している。	82%	18%
24	子供の身だしなみ(服装・頭髪)に関して、家庭での躰には厳しい方だ。	62%	38%
25	PTA活動(個人懇談・学級懇談会・PTA研修等)には積極的に参加している。	32%	68%

学校評価者による評価結果について

1 令和6年度学校関係者評価委員会

(1) 日時 令和7年3月17日(月) 16:10~17:10

(2) 場所 会議室

(3) 出席者 ア 学校関係者

地域住民 中村 忠司 様

地域企業等 溝 弘 様

同窓会関係 阿部 順子 様

PTA 関係 石上 一美 様

教育関係 吉本 浩志 様

イ 学校教職員

校長 宮路 真人

教頭 浜本 裕

事務長 蓮井 直樹

総務部長 森 義弘

教進部長 渋谷 剛弘

指導部長 有野 靖弘

2 学校関係者評価から明らかになった改善課題等

- (1) 一昨年、昨年度と比較し、学校評価の結果を受けて買い残がなされ、年々満足度が上がっていることは評価できる。昨年も話にあったが、移転して4年、コロナ禍も落ち着き、恵庭校舎での教育活動が軌道に乗ったようである。今後さらに満足度の高い教育活動がなされるよう期待する。
- (2) 三者(生徒・保護者・教員)のクロス集計はよいと思う。クロス集計して差のひらく項目は中学校とも同じであり、特に保護者とひらきがある項目は、粘り強く、教育活動の見える化を進めていくことが大切である。
- (3) 各種の情報提供に関する項目で三者の評価にねじれがある部分があるが、保護者への情報提供は、情報量が多いと表題のみ見て流すことも多い。特に子どもが複数いると各学校から多数連絡がくるので流しがちになる部分はある。高校生なので、本人たちがしっかり理解していれば、すべて保護者にといいことでもなくともよいと思うが、情報量、タイミング、内容など適切な情報配信を意識することは必要であろう。
- (4) 進路に関する項目で満足度の低い学科・学年が見られるが、生徒の進路に対する不安の現れでもあると思う。適切な時期に、より個々に適応した適切な進路指導を期待する。
- (5) 食物科の生徒数が減少している。食物科が多く活動を行っていることを我々は知っているが、この地域でも、大学の健康栄養学科は知っているが、高校の食物科は知らない、という人は多い。調理師免許が取得できることだけでなく、進学もできることも含め、食物科をもっとアピールすべきである。
- (6) 移転して4年、地域に根差した学校になっているので、マネジメント的には広域的な生徒募集も必要だと思うが、今後も地域に根差した学校であってほしい。
- (7) 生徒のメンタルヘルスは課題である。近年、どの学校種においても人間関係・友人関係に悩む子どもが多くなっているが、担任や養護教諭への個別相談だけでなく、専門家による個別面談や全体講演など積極的に動くことが大切である。
- (8) 一定の暑さ対策もあり施設設備の満足度が向上したようだが、今年は昨年より猛暑が少なかったこともあるので、今後に向け、よりよい学習環境の整備を期待する。